



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
- EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
- 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 大野智恵
- 西日本区理事 「未来への挑戦」
- 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
- アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
- スローガン「健康第一」 大野 勉
- 国際会長 「世界とともにワイズメン」
- スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2022年
6月

890号
(75期12号)



6月 西日本区強調活動 評価と引継ぎ

クラブの発展・個々の成長を1年間振り返りましょう。次年度に良い引継ぎが出来るよう、クラブ研修会を開催し学びを活かしましょう。

新山兼司 理事（京都トップス）

西宮ワイズメンズクラブ 2022年6月第一例会

日時：6月10日(金) 19:00～21:00

場所：西宮 YMCA3階会議室

ドライバー：岩田メン、馬場貴英メン

- | | | |
|--------------|----|------|
| 1 開会点鐘・挨拶 | 会長 | 廣瀬一雄 |
| 2 ワイズソング | | 一同 |
| 3 聖書朗読 | | 小野メン |
| 4 食前感謝 | | 小野メン |
| 5 会食 | | 一同 |
| 6 今期の活動報告 | 会長 | 廣瀬一雄 |
| 7 仮決算報告 | 会計 | 濱崎メン |
| 予算案 | | 重村メン |
| 8 お誕生日のお祝い | | |
| 9 ワイズニュース | 会長 | 廣瀬一雄 |
| 10 YMCA ニュース | | 藤田良祐 |
| 11 閉会点鐘 | 会長 | 廣瀬一雄 |

HAPPY BIRTHDAY / JUNE

- 13日 山口洋子メネット 17日 岡田晴美メネット
- 21日 浅野恭子メネット

今月の聖句

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。」

「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたの父の子どもになれるのです。」

マタイによる福音書5章9節、44節

小野勅紘メン選

5月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (13金)		第二例会 (27金)	
メン	14名	メン	11名
メネット	0名	メネット	0名
ゲスト	3名	合計	11名
MU	0名		
合計	14名	出席率	63.6%

ファンド

	5月	累計
ニコニコファンド	¥ 2,000	¥45,010
BF@300	¥ 3,900	¥24,300
震災支援@200	¥ 2,600	¥16,200

【会長】 廣瀬一雄 【直前会長】 万本 敬一 【副会長(次)】 濱 浩一 【副会長】 石井 恭子
 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 【会計】 重村 仁, 濱崎 進一 【監事】 阪根 新, 山口 政紀
 【EMC主査】 濱 浩一 【LD委員】 馬場 貴英 【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎 【担当主事】 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄

今年も奈良クラブの周年記念に出席を予定していましたが、中止。11年前に奈良ホテルへ行ったのを思い出します。岩国で予定されていた西中国部会には広島クラブの今坂会長に出席を伝えてホテルの予約をしました。久しぶりに広島クラブのみなさんにお出あいできるのを楽しみにしていましたが、こちらも中止。

先日の近江今津でのびわこ部会ではホストの近江八幡クラブの皆さんのお世話で広島や呉の皆さんと楽しい二日間を過ごさせていただきました。

五月例会にはゲストスピーカーにイラストレーターの涌嶋さんにリーダー仲間の女性のビジターさんも来られて和やかなひと時を過ごしました。

6月はワイズメンズクラブの年度末。特別なゲストはお招きしません。クラブの皆さんが主役です。美味しいお弁当をいただきながらこれからのクラブを語り合しましょう。ふるってのご出席をお願いします。



写真は去年の八月に男山八幡宮へ

5月第一例会報告

岡田佑一郎

絵本作家・イラストレーター・エッセイストで、TVドラマ『ロングバケーション』でキムタクが着て全国で話題になった、阪神淡路大震災の時に障がい者施設支援のためのボランティア T シャツ『ガッツくん』を制作された涌嶋克己さんをゲストスピーカーに迎え『もらった種とまいた種』のテーマでお話を頂きました。



小学生の時の愛称『ワックン』をそのまま現在も使用され活動されていること、滝川高校時代に当時興味があった卓球で西神戸 YMCA 青少年センターの少年部(卓球クラブ)に参加し、学生ボランティアリーダーの山本さん達との交流が出来たこと。YMCA 活動の中で結構自由な考え方や人間関係を形成することが出来たことなどを話されました。

漫画が得意だったので美術の先生から大阪芸大を勧められたが、諸般の事情から竜谷大学法学部を安易な気持ちで選択したと。しかし3年のゼミの授業中に本人にとっての重大な事件が発生したこと。すなわち当時視覚障がい者の就学を認めていたのは龍谷大学のみであったが、翌年からその制度もなくなるということで、一部の学生が反対し、学校のこの方針に対し当ゼミの学生たちはどう考えるのか？との視覚障がい者の入学問答を求められ、教授はその場を多数決で決めようとして提案し、決議の結果 12 対 1(=WAKKUN)でその学生たちは退席して行ったが、彼らの真剣さ、彼らが説いていた視覚障がい者が一生懸命勉強したいという真剣な気持ちに比して今まで自分の生きてきた生き方はどうだったのか？と一晩中一睡も出来ずに考え抜いて、翌朝学校に向かいゼミの教授に・・・、又お昼に父親を喫茶店に呼び出し



て・・・、で自分の本当にしたいこと（絵本製作とか大きな絵をかく事）に気づき、漠然とした将来を断ち切るために退学の道を選択されたことをユーモア交え話されました。

上手な絵を描くより、自分自身が経験したことで自分の心が感動で揺らいだり、その震えや味わいを絵の中に込めていき、表現していくことの大切さ、又その作品が人々に感動を与えつなっていくことなどをフォークシンガーで詩人の友部正人氏や絵本作家のスズキコージ氏、ジャズサクソ奏者坂田明氏らとの交流の中から学ばせてもらったこと等を話されました。

又ワクンが受けた感動を他人に伝えていく例として、ネパールで18年間に亘り医療活動をなさっていた日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）の岩村昇医師がザンビアの11才の男の子から贈られた昇→『ライジング』という詩をPHDの事務所で見掛けその内容に感動し作品として制作し岩村先生にお見せしたところ先生も大変喜んで下さり発表につながったことを話され読み聞かせて下さいました。



さらに鳥取の田舎の祖母をテーマにした『お春ばあさんとせいそうさん』の話『てがみ』を読み、日本人の根本的な心の基を感じて感動したフランス人で『男と女』の作詞家でその映画にも出演したピエール・バルー氏との出会い等々出会った人から多くのもの受け取り、自分の感性を通して他の人々に伝えていくことの大切さを熱っぽくお話頂きました。『てがみ』はワクンの作品集を手にとって読んでみてください。

山本ワイズが招待されたボランティアリーダー仲間のお二人も出席されほっこりとした例会になりました。



富久ちづ子さん



岩崎和子さん

『ライジング』

天があり、その下に地がある
天から雨が降り、地から草が生える
地はその草を背負い、天はその地を覆う
天と地の間に日が昇り、日が沈む
昇り、そして沈む日の間に
人間が生まれ、そして死んでいく
一人の男が、日が昇り日が沈む間に
草を刈り、牛に食わせ
木を切り、火をたき
そして死んでいった
その後から一人の子供が草を引き抜き
土地を掘り、種をまいた
その種から大きな大きな花が咲いた
日が昇り、日が沈み
天と地の間にその花は開いた
花が開いて、その花から香りが昇った
花の香りは昇って昇って、天に届いた
日は昇り、日は沈んだ
花はやがて枯れていった
だが天に昇った香りは
今も天と地の間にある





記念講演では自然観察員谷口良一先生の「高島の魅力ある自然について」と題し、余り知られていない自然の素晴らしを紹介されました。



びわこ部会報告

山口吉郎

10月に予定されていたびわこ部会が、コロナ禍の影響で延期され、去る5月14日に湖西高島市民会館にて今期の部会のトリを飾る形で行なわれました。西宮からは、廣瀬会長、敦子メネット、浅野、小野、山口吉各メンの5名が参加しました。この時期にもかかわらず、総勢百名近くのワイズが集い、盛大な部会でした。

ホストの安田部長（近江八幡）によると、今回の部会のねらいは、①びわこネックレス構想に沿って、高島の基盤を強くすること ②高島の素晴らしい自然・歴史的な遺産である文化や歴史を皆さんに知って頂くこと。そして、何より、来ていただいた方々が楽しく面白い部会にすることを念頭に進めてきたとのことでした。

（式典）バナーセレモニーでは、各会長・クラブを主役として、主題である「びわこ部の絆」を共感するため、部長と各会長のインタビューが行われました。



浅岡ワイズのマゴメット華波さんのサクソ独奏で始まり、滋賀 YMCA エミリーさんの楽しい英語遊びで気持ちもほんわかとなったところで市民会館での式典は終了しました。

（オプションツアー）①メタセコイヤコース ②ヴォーリス通 ③マキノ湖岸散策の3コースが用意され、浅野メンは①に、他4名は②のヴォーリス通り見学に参加しました。

今津教会では、着任間もない後藤牧師に案内説明していただきました。牧師は元神戸 YMCA に在籍され水野メンとも同僚で、また豊中ではワイズ会員であったとのこと、偶然の出会いに驚きでした。

（懇親会）マキノグランドパーク H でのお料理に総勢98名は酔いしれ、肩を組んで写真に写り、最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」で手をつないだ大きな一つの輪になり、ここでも「びわこ部の絆」を感じました。カントリーバンドのライブでは、思わず近くの方たちとステップを踏んでしまいました。

（DBC）広島クラブからは大拳8名が参加され、久々に3クラブの顔を合わせることが叶いました。部会后、宿泊組はいつものごとくホテルの一室に



集まり、夜中までワイワイと交流が続きました。翌日は、松本会長の運転（レンタルバス）でびわこテラスツアー。DBC3クラブと呉・京都パレス2名が参加し、すがすがしい湖畔の青葉とびわこテラスからの琵琶湖眺望を楽しみました。



YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

新型コロナウイルスが流行し始めてから2年以上が経過し、政府からも屋外で会話がほぼない場合にはマスクの着用は必要ない等の基本的対処方針が出されました。また、就学前の子どもたちについても保育所等では、周りの人との距離にかかわらず一律にはマスクの着用を求めないとされました。これを受けてYMCA 保育園でも、子どもたちはマスクを着用せずに活動する機会が増えました。マスクをしないうことで子どもたちの表情が読み取りやすくなり、特に気温や湿度が高くなってくるこの季節には健康管理の面からも有難いことだと感じています。感染者数が増えてきた場合はまた改めて対応を検討する必要がありますが、子どもたちの交流活動や体験活動についても可能な範囲で実施することができるよう準備を進めているところです。コロナの脅威は無くなったわけではありませんが、子どもたちの大切な体験の機会を守りながら保育を進めていきたいと思っています。

1. 創立記念礼拝

今年は神戸YMCAの創立記念日である5月8日が日曜日であったため、5月7日（土）に三宮会館のチャペルで創立記念礼拝を実施しました。昨年はオンライン開催でしたが、今年はチャペルに集って礼拝を守り、その後のグループディスカッションでも対面で意見を交わし合うことが出来

ました。136年間の活動を振り返り、これからの歩みを考える機会となりました。

2. LD 教育支援への感謝



西宮ワイズメンズクラブの皆さまから、今年も「LD 教育支援」として50,000円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。皆様からのご支援は、講師研修参加費用や学会への登録費、教材購入のために用いさせていただきます。西宮YMCAでは地域の子どもたちへの療育を進めるために、放課後等デイサービス（多機能型として小学生を対象とした療育支援を行う）への取り組みを始めました。子どもたちへの継続した支援を行い、連続した育ちに寄り添うことができるよう今後も研鑽に取り組んで参ります。

2021年度の支援金は、下記の費用の一部として用いさせていただきました。感謝をもって報告させていただきます。（写真はプログラムで市ヶ原へ出かけた時のものです。）

目的	金額
日本LD学会 2021年度会費	¥11,000
講師用研修受講費用	¥21,000
児童用図書・教材購入費用	¥27,850
オンライン用教材購入費用	¥54,560
合計	¥114,410

3. 今後の予定

(1) 神戸 YMCA 大会（総会）

今年の神戸 YMCA 大会は対面での開催も計画していますが、詳細に着きましては改めてご案内させていただきます。

日時：2022年6月25日(土)13時～17時
30分

内容：2021年度の報告・2022年度の方針・
計画(総会)
グループディスカッション等(予定)

ワイズニュース

【今後の予定】

- 6月10日(金) 第一例会 19:00～21:00
ドライバー岩田メン、馬場貴英メン
- 6月11日(土) 西日本区大会 岡山国際ホテル
- 6月24日(金) 第二例会 19:00～
- 7月8日(金) 第一例会 19:00～21:00
ドライバー山口吉郎メン、小野メン
- 7月16日(土) 第1回評議会 神戸 YMCA
- 7月22日(金) 第二例会 19:00～

第5回「きらりと輝くアート展」

日時 2022年6月1日(水)より

閲覧 ワイズメンズクラブ六甲部 HP 上

<https://www.kobeymca.org/ys/kirari-art.html>

URL または QR から
閲覧ください



主催 ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区六甲部
共催 公益財団法人神戸 YMCA



編集後記

今期も最終月、あっという間の1年でした。どうなることかと心配でしたが、皆様のご協力により12号目のブリテンを無事発行出来ました。感謝いたします。編集作業では、写真が移動し貼りつけに苦労しましたが、大分慣れてきた最近では写真を多用してスペースを稼ぐズルをしています。

次期は濱会長の方針で今期と同じ態勢となりますので、引き続きブリテンと書記を担当します。

よろしくお願いいたします。

多くの方からの投稿を希望いたします。

ブリテン委員 山口吉郎

